

(14)肺癌手術患者における術後感染症発症率

分子：分母のうち、手術日以降に5日以上抗菌薬（注射に限る）が処方された患者

分母：肺の悪性腫瘍で、「肺悪性腫瘍手術」「気管支形成手術輪状切除術」「肺切除術」「胸腔鏡下肺切除術」「胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術」のいずれかを施行し、手術日に抗菌薬（注射に限る）が処方された退院患者。

ただし、以下の場合を除外とする

- ・1入院期間中に異なる手術日が2日間以上あるもの
- ・退院年月日－手術日 ≤ 5 のもの

収集期間： 250床以上DPC病院：平成24年4月～平成25年3月
250床未満DPC病院：平成24年7月～平成25年3月

手術後感染症にかかるとまず発熱が起こります。この発熱の原因として最初に考えられるのは「肺炎」「尿路感染」「手術した部位の感染」の3つです。

一般的に、大きな手術を行った後、ICUに入って人工呼吸器を使用している時に肺炎などの感染症が起きやすくなります。人工呼吸器とは自力で呼吸ができないときに、人工的に換気をさせる器械のことを言いますが、自力の呼吸ではないので肺が十分に膨らまず、無気肺（※）などのために肺炎になりやすくなります（この対策として最近では患者さんに早期に体を起こしてもらって肺を膨らませるようにしています）。

尿路感染は、手術中に尿を強制的に排出させるために膀胱まで管を入れますが、このときに逆に菌が膀胱の中に入ってしまうことによって起こる感染です。膀胱に管を入れる際には衛生面には十分に配慮していても、免疫力が低下しているときには雑菌が体内に侵入しやすくなっているために起こってしまいます。

最後に手術部位の感染です。手術部位の感染は手術をした表面だけでなく体の内側のことも含めて考えます。手術時に、手術部位の周辺に一定以上の雑菌が残っていて、それが増えたことによる感染（手術をした表面の感染）の他に、私たちの体の中には様々な雑菌がいますので、その雑菌が体内の手術部位に付着することによって感染を引き起こす場合があります。

肺癌の手術については、手術部位が肺であることで手術部位の感染のリスクが高く、また人工呼吸器による感染や、尿を排出するための管からの感染の可能性があります。

術後感染の発症は本来であればカルテから把握すべきですが、本事業ではすでに収集している電子データを用いて分析を行っているため、便宜上「手術日以降に5日以上抗菌薬（注射に限る）が処方された」場合は何らかの感染症が発生したとみなして指標化している。

※無気肺とは、何らかの原因で肺に空気が入らないために肺が膨らまずにつぶれた状態のことです。

指標 25：肺癌手術患者における術後感染症発症率

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
080110205	水戸済生会総合病院	20	2	10.0%
096210115	済生会宇都宮病院	48	2	4.2%
111101922	済生会栗橋病院	21	1	4.8%
130314757	済生会中央病院	50	5	10.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	34	3	8.8%
150120734	済生会新潟第二病院	23	5	21.7%
170117068	済生会金沢病院	10	5	50.0%
180118909	福井県済生会病院	54	0	0.0%
272701586	済生会泉尾病院	-	-	16.7%
274406135	済生会野江病院	11	1	9.1%
274900723	済生会富田林病院	-	-	0.0%
279600070	済生会中津病院	46	0	0.0%
279600153	済生会吹田病院	43	1	2.3%
285001538	済生会兵庫県病院	28	5	17.9%
300112641	和歌山病院	-	-	71.4%
338800012	岡山済生会総合病院	57	9	15.8%
343111190	済生会広島病院	-	-	11.1%
350116357	済生会下関総合病院	30	3	10.0%
350310141	済生会山口総合病院	27	2	7.4%
380110282	松山病院	-	-	0.0%
380228159	今治病院	-	-	100.0%
380628143	西条病院	-	-	0.0%
401119189	済生会福岡病院	40	2	5.0%
401719020	済生会二日市病院	-	-	0.0%
406619050	済生会八幡総合病院	-	-	100.0%
419810713	唐津病院	19	1	5.3%
428113308	長崎病院	-	-	0.0%
438211911	済生会熊本病院	21	0	0.0%
440411500	日田病院	15	2	13.3%
	合計	665	89	13.4%

指標 25：肺癌手術患者における術後感染症発症率

